

## 会議録

会議の名称	平成23年度 西東京市青少年問題協議会 第3回
開催日時	平成23年11月7日（月曜日） 午後2時から午後4時まで
開催場所	西東京市役所田無庁舎5階 502会議室
出席者	委員：坂口市長、石田委員、織田委員、河西委員、金原委員、住田委員、西原委員、納田委員、細田委員、松村委員、真鍋委員、森本委員（五十音順） （欠席：榎本委員、勝見委員、小峰委員、竹中委員） 事務局：大久保子育て支援部長、森下子育て支援課長、倉本調整係長、阿久津主査、横山児童青少年課長、西川主事
議題	1 今期の会議運営について 2 その他
会議資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議次第</li> <li>・ 西東京市青少年問題協議会委員名簿</li> <li>・ 「西東京市青少年問題協議会」事務局職員名簿</li> <li>・ 地方青少年問題協議会法</li> <li>・ 西東京市青少年問題協議会条例</li> <li>・ 西東京市青少年問題協議会条例施行規則</li> <li>・ 西東京市青少年問題協議会傍聴要領</li> <li>・ 西東京市青少年事業のお知らせ</li> </ul>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委嘱式</li> <li>・ 会長挨拶</li> </ul> <p>○事務局： これより協議会を始めます。まず欠席者の報告と資料の説明等をしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 欠席者報告</li> <li>・ 資料説明</li> </ul> <p>○会長： それでは条例に基づき、委員の中から副会長を選出していただきたい。立候補、推薦があればお願いしたい。</p> <p>○A委員： 住田委員を推薦したい。</p>	

- 会長：  
ただいま住田委員を推薦するとの声があった。前期に引き続き、住田委員に副会長をお願いしたいと考えるが。
- 委員一同：  
異議なし。
- 会長：  
承認いただいたので、住田委員に引き続きお願いしたい。
- 副会長：  
副会長より挨拶
- 会長：  
続いて、職務代理者の指名であるが、金原委員をお願いしたい。
- 金原委員：  
はい、わかりました。
- 会長：  
それでは、ここからは副会長をお願いしたい。
- 副会長：  
まず座席の席順について。現在、時計回りで五十音順となっているが、このままでよろしいか。
- 委員一同：  
異議なし。
- 副会長：  
それではこの席順のとおりとしたい。  
次に、会議録の作成について。事務局より説明をもとめる。
- 事務局：  
会議は原則公開となっているため、傍聴が可能である。会議の資料を作成することを考えると、これまで同様、おおむね5名程度とさせていただきたい。  
会議録は、これまで、全文記録ではなく、要点記録としてきた。これまで同様「発言者の発言内容ごとの要点記録」とさせていただきたい。それから、各発言者の名前を書くのではなく、A、B、C、D…と表記し、公開している。これについてもこれまで同様とさせていただきたい。
- 副会長：  
事務局の説明に質問はあるか。なければ、傍聴、会議録についてはよろしいか。

○委員一同：

異議なし。

○事務局：

会議の運営についての取り決めは以上である。なお、この会を進行するに当たって、今後副会長を座長と呼ばせていただきたい。

○座長：

それでは議題に入る前に、前回の会議録の承認を行いたい。

○委員一同：

異議なし。

○座長：

それでは承認させていただく。

○座長：

事務局より資料説明をお願いしたい。

○事務局：

西東京市青少年事業のお知らせの説明

○座長：

お知らせは、年に何回か発行する予定であるか。

○事務局：

年2回の発行である。

○座長：

それでは、「今期の会議運営について」であるが、その前に、前回配布した西東京市青少年問題協議会の10年の歩みを確認願いたい。この協議会では、1期ごとに何かを残してきているので今期も何かを残し、一步でも前に出たい。会議の前にお願ひがある、皆さんの発言がないと纏まらないので、積極的な発言をお願いする。今期また話し合いを進めていくわけだが、どのようにしていったらいいのか、ご意見を伺いたい。

○B委員：

先日開催された歩け歩け会に参加した中学生が、すれ違う人に声掛けをしていたことに感心した。大人と子供のふれあう場を作る事が、大事だと思う。

○C委員：

どんと焼きの実行委員に参加しているが、中学生のボランティアが活躍しているの

で、高校生たちも参加しやすい仕組みがあったらいいと思う。

○A委員：

歩け歩け会を例にすると、年々中学生のボランティアは増えている。ボランティアを生かす側が、もっと勉強が必要である。プレイリーダー育成講座に参加したが、とても役に立ったので、勉強できる機会があったらいいと思う。

○D委員：

私は、青少年の指導、育成より保護および矯正の業務に携わっているので、この協議会の場はとてもいい。西東京市の子供たちの現状として、とてもいい中学生の話が出たが逆に、家庭環境が不安定で行き場のない中学生がいることに危機感を抱いているので、この会で問題解決できればと思う。

○E委員：

子供たちが置かれている現状は難しい状況である。青少年を一人一人主体的に見ていくことが必要ではないか。今までは、大人が青少年を見守る感じだったが、これからは個々に支えて行く方向にいけばいいと思う。

○座長：

この協議会は、協議をする場であるが、活動できるようなご意見があれば伺いたい。

○F委員：

青少年月間のように、提言してきたことが、形になってきている。人間関係で悩んでいる子供が非常に多くなっている。グループができていない子供達について考えていく必要がある。

○G委員：

中学までは地域で見守っていけるが、中学を出た後は地域にはいるが、どんどん見えなくなってきているので、どう地域に繋ぎとめるかを考える必要がある。

○H委員：

青少年事業のお知らせに、掲載されている中高生委員会があることに感激した。子供たちが主体的に参加した委員会ですばらしい。第2期で実施した、子供と保護者の声を聴いてみたい。

○I委員：

お知らせ等で情報発信しても、なかなか伝わらず難しい。

○J委員：

ボランティア等に関心がない人に、どこまでこの協議会でアプローチできるかが課題である。

- 座長：  
意見を纏めますと、子供と保護者の声を聴く場を設定するということだが、意見を伺いたい。
- D委員：  
お知らせに掲載されている児童センターの利用等の検証が必要ではないか。
- 座長：  
この協議会では、施設の実態を知るために見学に行き議論しているのだから、必要なら施設に出向く。児童館の職員指導の形で集まってくる青少年たちと関わりを持っていて聞いているが、地域の方たちを集めて、見守っていく考えはあるか。
- 事務局：  
児童館は、地域の方との連携が必要であると思う。現在、民生委員が児童館の実態を視察している。二つの児童センターは、4月より民間に委託をしており、地域の方との連携を取れるように努力している。
- 座長：  
地域の方、育成会等から積極的に働きかければできる。
- E委員：  
児童館によっては、地域協議会がある。
- 座長：  
実態を知ることが、大事である。ここで、纏めるが、子供と保護者のしゃべり場という意見があったので、これで進めていいか。本協議会は年4回であるので、専門部会を設置するか。
- E委員：  
協議会委員を3グループに分けて、2年間掛けて回るのはいかがでしょうか。
- 座長：  
専門部会で事前に話し合いして、本協議会で議論をした方が効率的なので専門部会を設置してよろしいか。
- 委員一同：  
異議なし。
- 座長：  
専門部会の委員につきましては、各団体の代表者でよろしいか。
- 委員一同：  
異議なし。

○座長：

それでは、専門部会で協議させていただいて、次の本会に出させていただきます、皆さんにご意見を伺う。

以上にて終了。

・各委員の情報交換

次回 平成24年1月23日（月曜日）